

2024年(令和6年)8月オホーツク管内倒産集計

令和6年9月2日

株式会社 東亜リサーチ

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

2ヶ月ぶりの発生 累積件数・金額ともに前年上回る

8月は昨年に続き2年連続で倒産発生

■前月比	件数	2件増加(2024年 7月	0件)
	負債総額	1億1,950万円増加(0円)
		〃	
<hr/>			
■前年同月比	件数	1件増加(2023年 8月	1件)
	負債総額	1億949万円増加(1,351万円)
		〃	

2024年8月の発生状況

2024年8月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)の発生は2件、負債総額は1億1,950万円。前年同月比では件数、負債総額ともに増となった。(※前月は発生なし)

倒産発生はともに北見市の企業。製造業者(プラスチック用金型)は従来から売上の安定性を欠き、ここ数年はコロナ禍の影響も直撃して業績悪化が顕著となり自己破産申請に至ったもの。建設業者(土木工事業)は下請工事主体の受注で従来から収益性に乏しく、赤字決算が続いたことで債務超過に転落し資金調達も限界に達したもの。

直近5ヶ年の8月の発生状況は19年1件、20年1件、21年0件、22年0件、23年1件の推移で、平均発生件数は0.6件、同負債総額が4,470万円となっている。

2024年1～8月の発生推移

過去5年間の1～8月の発生推移は【右・表】の通り。平均発生件数は7.4件。同負債総額は7億4,674万円。

倒産企業が極端に少なかったコロナ3年目の22年を除くと、ここ数年の発生件数はほぼ横ばいで推移。今年の負債総額は過去5ヶ年の中で20年に次ぐ水準となっている。

過去5年間で今年1～8月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
2019年	10件	7億3,590万円
2020年	9件	13億1,800万円
2021年	8件	8億2,100万円
2022年	1件	2,356万円
2023年	9件	8億3,526万円
2024年	10件	10億8,964万円

今後の見通しと問題点

国内全体では、所得増加等を背景に個人消費や観光産業などで活発な動きが見られる一方、各種エネルギー価格の高止まりや深刻な人手不足、輸送コストや人件費負担など各企業におけるコスト上昇要因が多岐に及んでいる。また、日銀の利上げ発表による影響（貸出金利上昇など）が今後ジワジワと忍び寄ることが懸念され、中小事業者の間では強い警戒感と先行き不透明感が高まっている。

オホーツク管内では7月に年初来初めて倒産発生がゼロとなったが、8月は反転し2件発生。今なお重苦しい雰囲気が続いている。運送や建設業界では時間外労働の規制や人手不足が深刻化するなど苦戦を強いられる事業者が多く、飲食業などからも売上不振に喘ぐ声が聞こえる。今年度に入ってから地域全体で景気回復への気運も一層高まり、地域イベントの本格開催など明るい話題も多々聞こえてくるが、未だコロナの後遺症で苦しむ中小事業者も多く、厳しい情勢は今しばらく続く見通しだ。